

VLBI 懇談会 2009 年第 1 回役員会 議事録

文責：徂徠

2009 年 5 月 8 日 (金) 13:30 – 17:00

於：国立天文台三鷹 第三会議室

参加者：面高，小林，小山，渋谷（土井代理），福崎，久野，三好，村田，徂徠

電話：藤沢，高羽，亀野，今井，関戸

欠席：藤下，梅本，本間

1. 今年度の活動方針

- ・ 国立天文台 VLBI 小委員会では主に VERA, VSOP-2 について議論しているのに対して，VLBI 懇談会は多数の機関が参加しているので，VLBA 問題も含めて予算を獲得できるような議論の場とする
- ・ 天文関係機関と情報通信研究機構，国土地理院等とのよりよい協力関係を模索する
- ・ VLBI 小委員会でも議論しているが，位置天文学及び測地の分野で，韓国，オーストラリア，ナイジェリア等の海外の研究機関と協力関係を築けない模索する
- ・ VLBI 懇談会は大局的見地から議論していくのが重要で，参加機関がお互いに協力し合う

2. 機関代表交代の承認

国土地理院の和田氏が都合により退会されたため，国土地理院の機関代表を福崎順洋氏に交代したい旨連絡があり，これを承認した。

3. 機関報告

別途配布資料を参照

4. 国立天文台電波専門委員会の報告（藤沢副委員長）

VLBI 懇談会に問われていることは特にない

5. 国立天文台 VLBI 小委員会の報告（面高委員長）

- ・ VERA の成果を論文として世界に発表していくように
- ・ VLBA 問題も絡めて，VSOP-2 をどう成功させるか？
- ・ VSOP-2 については，宇宙航空研究開発機構と人のつながりを有機的にして協力して進めて行く
- ・ 東アジアのネットワークに対して，大学連携をどのようにマッチングさせていくのか，またアジアの拠点としてどのように取り組んでいくのかということ協議していきたい
- ・ VERA の解析に関する問題に関して，外部メンバーも入れたワーキンググループを作っていく
- ・ サブミリ VLBI をどのように進めていくかについても多少議論した

(質問)

- ・ ロードマップが示されていないが，どうなっているのか？（今井）

(回答)

- ・ この委員会としては一つ一つのプロジェクトを成功させていくことを目指している

6. VSOP-2/ASTRO-G 関係の報告 (村田)

別途配布資料を参照

(質問)

- ・ 計画が多くて国民から希薄に見られていないか? (面高)

(回答)

- ・ 公開等の努力をしている
→ 世論作りが重要 (面高)

7. VLBA 支援のための大型科研費申請状況の報告 (今井)

- ・ こういうことを明らかにしたいから VLBI が必要だという流れが必要で、VLBI 懇談会や宇宙電波懇談会が議論の場として適当かどうかはわからなくなっている (村田)
- ・ シンポジウム等で話し合いたい (面高)
- ・ 今年度も出したいが、文部科学省系だけでなく総務省系とも連携できないか? (今井)
- ・ 運営経費に入れることも検討すべきかもしれない (村田)
- ・ 大学は VLBA の維持というのは出しにくい (面高)
- ・ 懇談会としては科研費ベースにすべきかどうか分析して、調整・準備していく (面高)

8. VLBI による銀河系位置天文学についての提案 (三好)

- ・ 銀河系内のメーザー源の運動を調べたところ、非円運動が非常に大きい結果になった (宇宙航空研究開発機構朝木氏による)
- ・ VLBI 観測とシミュレーション (他の分野) とインターラクティブな議論ができるようになった
- ・ 密度波理論では説明できない
- ・ 統計視差法では 65 天体が観測可能 (参照天体が不要)

- ・ このような理論との協力は重要 (面高)
- ・ LSR の円運動も実は根拠がない (小林)
- ・ バーでは説明できないのか (久野)
- ・ 役員会でこの発表するのはなぜか (亀野)

9. 2009 年シンポジウムについて

日程: 12 月 3 日 (木) - 5 日 (土) cf. VERA ユーザーズミーティングは 9 月 2 日 - 3 日

場所: 水沢 (LOC: VERA)

テーマ: IVS2010 で何がわかるのか

ロードマップ (天文, 測地)

10. 会員の入退会について

約 1 ヶ月待つてから連絡先不明あるいは回答なしの会員は退会とする